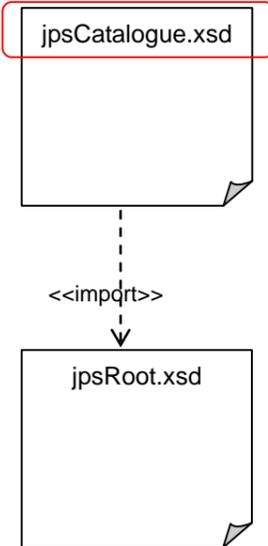
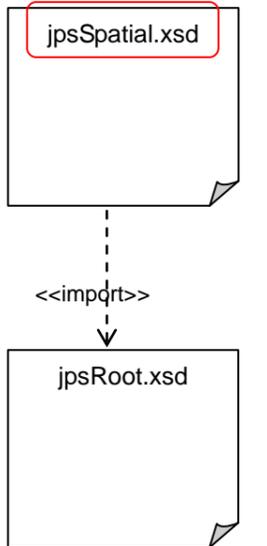


新 (変更後)	旧 (2月10日意見募集時)	コメント
<p><b>3 引用規格</b></p> <p>次に掲げる規格は、JPGIS で引用され、このプロファイルの一部を構成するものである。</p> <p>JIS X 0301:2002 情報交換のためのデータ要素及び交換形式－日付及び時刻の表記</p> <p>JIS X 4159:2005 拡張可能なマーク付け言語 (XML) 1.0</p> <p>JIS X 7105:2001 地理情報－適合性及び試験</p> <p>JIS X 7107:2005 地理情報－空間スキーマ</p> <p>JIS X 7108:2004 地理情報－時間スキーマ</p> <p>JIS X 7109:2009 地理情報－応用スキーマのための規則</p> <p>JIS X 7110:2009 地理情報－地物カタログ化法</p> <p>JIS X 7111:<u>2014</u> 地理情報－座標による空間参照</p> <p>JIS X 7112:2006 地理情報－地理識別子による空間参照</p> <p>JIS X 7115:2005 地理情報－メタデータ</p> <p>JIS X 7123:2012 地理情報－被覆の幾何及び関数のためのスキーマ</p> <p><u>JIS X 7131:2014 地理情報－データ製品仕様</u></p> <p>JIS X 7136:2012 地理情報－地理マーク付け言語 (GML)</p> <p>JMP2.0 仕様書</p> <p>品質の要求,評価及び報告のための規則</p> <p>ISO/TS 19103:2005 Geographic Information – Conceptual Schema Language</p> <p>ISO 19118:2011 Geographic Information – Encoding</p>	<p><b>3 引用規格</b></p> <p>次に掲げる規格は、JPGIS で引用され、このプロファイルの一部を構成するものである。</p> <p>JIS X 0301:2002 情報交換のためのデータ要素及び交換形式－日付及び時刻の表記</p> <p>JIS X 4159:2005 拡張可能なマーク付け言語 (XML) 1.0</p> <p>JIS X 7105:2001 地理情報－適合性及び試験</p> <p>JIS X 7107:2005 地理情報－空間スキーマ</p> <p>JIS X 7108:2004 地理情報－時間スキーマ</p> <p>JIS X 7109:2009 地理情報－応用スキーマのための規則</p> <p>JIS X 7110:2009 地理情報－地物カタログ化法</p> <p>JIS X 7111:<u>2004</u> 地理情報－座標による空間参照</p> <p>JIS X 7112:2006 地理情報－地理識別子による空間参照</p> <p>JIS X 7115:2005 地理情報－メタデータ</p> <p>JIS X 7123:2012 地理情報－被覆の幾何及び関数のためのスキーマ</p> <p>JIS X 7136:2012 地理情報－地理マーク付け言語 (GML)</p> <p>JMP2.0 仕様書</p> <p>品質の要求,評価及び報告のための規則</p> <p>ISO/TS 19103:2005 Geographic Information – Conceptual Schema Language</p> <p>ISO 19118:2011 Geographic Information – Encoding</p> <p><u>ISO 19131:2007 Geographic Information – Data Product Specifications</u></p>	<p>JIS X 7111 の改正 (2月25日) に伴う更新</p> <p>JIS X 7131 の制定 (2月25日) に伴う更新</p>
<p><b>4.1.6.5 Enumeration</b></p> <p>そのインスタンスが、名前付けしたリテラルの一覧を形成するデータ型に適用するステレオタイプ。<u>通常は列挙名及びリテラルの両方を宣言する。</u>列挙 (Enumeration) は、そのクラスの値として許される、十分合意が得られた値の一覧を意味する。</p>	<p><b>4.1.6.5 Enumeration</b></p> <p>そのインスタンスが、名前付けしたリテラルの一覧を形成するデータ型に適用するステレオタイプ。<u>列挙する名前及びリテラルの両方を宣言する。</u>列挙 (Enumeration) は、そのクラスの値として許される、十分合意が得られた値の一覧を意味する。</p>	<p>「通常は」を追加し、「列挙する名前」を「列挙名」に変更する</p>

新 (変更後)	旧 (2月10日意見募集時)	コメント
<p>附属書 8 (参考) XML に基づく符号化規則</p> <p>6.3 標準 XML スキーマ文書テンプレートの構成と概要</p>  <p>図附 8-28 標準 XML スキーマ文書テンプレートの構成</p> <p>6.3.1 ファイル構成</p> <p>標準 XML スキーマ文書テンプレートは次のファイルから構成される。使用者は、このテンプレートを用いて、XML 文書を作成することができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <a href="#">jpsCatalogue.xsd</a> : <u>JPGIS 11 地物カタログ化法で規定する地物カタログスキーマの W3C XML Schema を定義する。</u> <u>jpsCatalogue.xsd は jpsRoot.xsd で定義する要素を参照するため、jpsRoot.xsd をインポートする。</u></li> </ol> <p>6.4 名前空間</p> <p>標準 XML スキーマ文書の名前空間及び名前空間接頭辞は次による。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 名前空間 <a href="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2014">http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2014</a></li> <li>2. 名前空間接頭辞 jps</li> </ol>	<p>附属書 8 (参考) XML に基づく符号化規則</p> <p>6.3 標準 XML スキーマ文書テンプレートの構成と概要</p>  <p>図附 8-28 標準 XML スキーマ文書の構成</p> <p>6.3.1 ファイル構成</p> <p>標準 XML スキーマ文書テンプレートは次のファイルから構成される。使用者は、このテンプレートを用いて、XML 文書を作成することができる。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. <a href="#">jpsSpatial.xsd</a> : <u>JPGIS 7 空間スキーマで規定する地物カタログスキーマの XML スキーマ文書を定義する。</u> <u>jpsSpatial.xsd は jpsRoot.xsd で定義する要素を参照するため、jpsRoot.xsd をインポートする。</u></li> </ol> <p>6.4 名前空間</p> <p>標準 XML スキーマ文書の名前空間及び名前空間接頭辞は次による。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 名前空間 <a href="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis-standardSchemas2014">http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis-standardSchemas2014</a></li> <li>2. 名前空間接頭辞 jps</li> </ol>	<p>標準 XML スキーマ文書テンプレートの構成では jpsCatalogue.xsd を例示する</p> <p>図名の修正</p> <p>jpsCatalogue.xsd への変更</p> <p>名前空間の変更</p>
<p>附属書 8 (参考) XML に基づく符号化規則</p> <p>6.6.4 標準 XML スキーマ文書</p> <p>標準 XML スキーマ文書は次の URL のファイルを使用する。</p> <p><a href="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2014">http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2014</a></p>	<p>附属書 8 (参考) XML に基づく符号化規則</p> <p>6.6.4 標準 XML スキーマ文書</p> <p>標準 XML スキーマ文書は次の URL のファイルを使用する。</p> <p><a href="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis-standardSchemas2014">http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis-standardSchemas2014</a></p>	<p>URL の変更</p>
<p>附属書 9 (参考) 四辺形グリッド被覆</p> <p>2. 四辺形グリッド被覆 XML スキーマ文書</p> <p>四辺形グリッド被覆の XML スキーマ文書は次の URL にあるファイル jpsGrid.xsd を使用する。</p> <p><a href="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2014">http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis/standardSchemas2014</a></p>	<p>附属書 9 (参考) 四辺形グリッド被覆</p> <p>2. 四辺形グリッド被覆 XML スキーマ文書</p> <p>四辺形グリッド被覆の XML スキーマ文書は次の URL にあるファイル jpsGrid.xsd を使用する。</p> <p><a href="http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis-standardSchemas2014">http://www.gsi.go.jp/GIS/jpgis-standardSchemas2014</a></p>	<p>URL の変更</p>
<p>附属書 11 (規定) 地理空間データ製品仕様書</p> <p>序文 附属書 11 では、<a href="#">JIS X 7131 (地理情報—データ製品仕様)</a> に従い、JPGIS に基づく地理空間データ製品仕様書の作成について規定する。</p>	<p>附属書 11 (規定) 地理空間データ製品仕様書</p> <p>序文 附属書 11 では、<a href="#">ISO 19131 (Geographic information - Data product specifications)</a> に従い、JPGIS に基づく地理空間データ製品仕様書の作成について規定する。</p>	<p>JIS X 7131 の制定 (2月25日) に伴う更新</p>